

会 議 録

件 名	令和4年度第1回かほく市学校給食センター運営委員会		
日 時	令和4年12月20日(火) 午後2時00分～午後3時10分	場 所	かほく市役所 3階 302会議室
[内 容]			
◇出席者： 委員13名中9名出席 委任状0名			
◇委員長挨拶			
◇レジメと資料に基づき説明。			
1) 副委員長の指名 漢野委員(高松中学校校長)			
2) 令和4年度学校給食センターの運営について			
3) 年間献立について			
年間計画を立て、食育を実施。地場産物の使用したふるさと給食、季節の献立、郷土料理、海外の献立等を取り入れて、子ども達が食に関心を持つように工夫している。学校司書と連携し図書に親んでもらう企画として、絵本から飛び出した給食献立も実施している。最近では物価が高騰し大変であるが、限られた予算の中で栄養摂取基準を満たす献立を考え、安心安全で美味しい給食の提供に努めている。			
【委員の意見】			
・学校給食は子どもたちの楽しみである。楽しく給食を食べられればいいと思う。早くコロナ禍が終わって欲しい。			
・週5回ご飯にして欲しい。パンでは力がでない。			
・動画で机を向かい合わせにして給食を楽しく食べている様子を見ると、いいなと思う。以前は、食べきれない物は分けていたが、コロナ禍ではそういうことも出来ない。			
・家では嫌いなものは食べないが、給食だと嫌いなものも食べてくれる。給食には感謝しかない。			
・ふるさと給食の日などは、家で子どもと給食の会話をしたい。			
・学校給食の7つの目標に向けた活動をやって欲しい。ふるさと給食の検証もいいと思う。			
4) 石川中央保健福祉センターより情報提供			
新型コロナウイルス感染症を2類から5類に引き下げる話も出てきているが、いろいろな資料を見ると、そう簡単ではない。インフルエンザは季節性でコロナは季節性ではない。インフルエンザは定点観測ではあるが、今年は直近で1桁である。いずれ			

にしても感染症の基本の手洗い、うがいの励行で感染症対策をとることが重要。

食中毒については、腸管出血性大腸菌の食品を介さない感染症もある。鶏肉にあるカンピロバクターは少ないウイルス量で感染してしまう。肉を焼くときはトング、焼けたら取り箸と使い分けることを、子ども達にも教えて欲しい。

5) 副委員長挨拶